

大正 11 年の貞明皇后行啓と山口県

貞明皇后（ていめいこうごう、明治17年〈1884〉— 昭和26年〈1951〉）は、大正天皇の皇后にあたります。

大正11年（1922）3月、「今上陛下御病氣平癒御祈願」と「摂政宮殿下無事御帰朝（ヨーロッパ訪問）御礼」のために、九州福岡の香椎宮・箱崎八幡宮・太宰府天満宮への貞明皇后の行啓が実施されました。

御召列車による往路（福岡への途次）は三田尻の公爵毛利邸に御宿泊、海路を利用した帰路は安下庄湾口に碇泊した御召艦摂津艦中に御宿泊。沿道各地では熱狂的な「奉迎送」がとりおこなわれました。

山口県文書館には、この行啓にまつわる行政文書（県庁文書）と『記念写真帖』が所蔵されています。

行幸啓には国内各地の産業や教育の実情把握という目的もありましたので、今回の展示では、献上品や台覧品から、当時の山口県の物産についても概観することにします。

■1. 皇后陛下御西下(福岡県下行啓ほか)日程

▼当初の予定

- 9日) 神奈川県葉山御用邸出発 (列車移動) 逗子→静岡 静岡御用邸泊
- 10日) 静岡御用邸出発 (列車移動) 静岡→須磨 兵庫県武庫離宮泊
- 11日・12日) 武庫離宮滞在(住吉神社参拝)
- 13日) 武庫離宮出発 [列車移動] 須磨→三田尻駅着午後7時30分→公爵毛利元昭邸泊
- 14日) 午前10時20分公爵毛利元昭邸出発
[列車移動] 三田尻→下関駅着 鉄道省連絡船「豊山丸」で関門海峡渡航
[列車移動] 門司→博多 公爵黒田長成別邸泊
- 15日～18日) 公爵黒田長成別邸滞在(香椎宮・太宰府神社・筥崎宮参拝)
- 19日) 黒田別邸出発 [列車移動] 博多→門司 門司港沖停泊軍艦摂津乗艦→安下庄湾口碇泊
- 20日) 安下庄出発 →江田島海軍兵学校
- 21日・22日) 滞在(厳島神社・呉鎮守府海軍工廠・広島大本営跡視察)
- 23日) 神戸沖合碇泊
- 24日) 武庫離宮泊
- 25日) 静岡御用邸泊
- 26日) 葉山御用邸着

▼「皇后陛下御微恙(びょう=軽い病気=風邪による発熱)」による日程変更

[武庫離宮で静養・・・・武庫離宮出発18日]

◎三田尻毛利邸宿泊18日、安下庄湾碇泊23日

■2. 献上品一覧

ID	品名	献上者	備考
1	大内塗 (御料紙文庫・御硯箱・御文台)	山口県知事橋本正治	山口町河合辰之進製 〈縦白木箱入*帛紗(ふくさ)包装〉
2	温州蜜柑		大島郡日良居村産
3	栗		山口県農業試験場富海分場産
4	交魚(贈答用鮮魚)		鯛(大島産)*鰻(秋穂産)*鮑(角島産)
5	ワシントンネーブルオレンジ	大島郡長原田知壮	
6	青銅花瓶	玖珂郡長柏村唯雄	岩国町正兼長雲製作
7	岸根栗		坂上村金井歳太郎生産
8	生糸	玖珂郡岩国町 株式会社義済堂社長大田瀧熊	
9	縞木綿	熊毛郡長杉山逸次郎	
10	乾蝦	佐波郡長横山素輔	
11	半紙(徳地半紙)		
12	写真帖	佐波郡防府町長藤村右一	行啓の模様を撮影 (写真師白石権四郎〈防府町三田尻〉)
13	羊羹		防府町吉井栄三郎製
14	乾蝦	吉敷郡長西金蔵	
15	硯	厚狭郡長村田広一	船木町松谷和三郎
16	黄楊櫛 (三つ揃櫛*鬢櫛*筋立櫛*梳櫛)	厚狭郡船木町長岸田豊輔	
17	雲丹	豊浦郡長羽村利刀	神玉村西尾喜三蔵製造
18	竹籃		長府町石井馨三製造

19	大理石花台	美祢郡長岡乙治郎	秋吉村鹿取彦七製
20	長門峡写真帳	阿武郡長岡村勇二	(写真師原田耕雲〈山口町湯田〉撮影)
21	萩ノ誉(夏蜜柑製)	阿武郡萩町長北野右一	萩町久継富之進製
22	萩焼香炉	阿武郡椿東村長南方良輔	椿東村坂高麗左衛門製
23	萩焼抹茶茶碗		椿東村三輪録郎製
24	生糸	阿武郡椿東村 萩製糸株式会社取締役社長賀田以武	
25	深川焼抹茶茶碗	大津郡長林勇輔	深川村田原守雄、秋里長吉製
26	乾和布	大津郡仙崎町 仙崎魚市場株式会社取締役社長田中松蔵	
27	硯	下関市長代理助役竹尾英敏	東南部町大森久三郎製造
28	マナガツオ	下関市岬之町	
29	トロール漁業写真	共同漁業株式会社取締役社長松崎壽三	
30	乾蝦	宇部市長臨時代理者国吉亮之輔	
31	再製塩・精製食卓塩	三田尻地方専売局長有田靖	
32	カナワ式製塩・真空式製塩	専売局三田尻試験場長大山清	
33	海參	都濃郡長都野知若	
34	朝鮮金剛山図	佐波郡右田田中啓三郎(柏陰)	絹本水墨画

●郡市推薦の献上品のうち、「台覧品との重複」「個人的な献納品」などの理由で選外となったもの

生糸(大島郡)、荒磯漬(萩町)、明峯寺飴(大津郡)、

味付わかめ・錦いか・長壽飴・かすていら・鯨尾羽毛・泡雪・蟹甲煎餅・目さまし飴(下関市)

■3. 台覧品

農産品

- 防長米〈吉敷郡山口町防長米協同組合〉
都〔玖珂郡祖生村〕／穀良都〔吉敷郡小鱈村〕／白玉〔厚狭郡吉田村〕／武作撰〔都濃郡久保村〕／
神力〔佐波郡牟礼村産〕
- 蚕繭〈佐波郡防府町山口県原蚕種製造所〉
- 夏蜜柑〈阿武郡萩町石津彦之進〉
- 温州蜜柑〈熊毛郡伊保庄村大本角治郎〉
- 真綿〈玖珂郡岩国町株式会社義濟堂〉
- 椎茸〈玖珂郡広瀬村隅喜作〉
- 練乳〈美祢郡西厚保村三沢孝〉

工業品

- セメント（ポルトランドセメント・白色ポルトランドセメント）〈厚狭郡小野田町小野田セメント株式会社〉
- セメント製品（セメント製敷セメント製瓦砥出張付瓦）〈厚狭郡小野田町小野田セメント株式会社〉
- 半紙〈都濃郡須金村〉
- 徳地紙〈佐波郡徳地村無限責任徳地紙購買販売組合〉
- 諸口紙〈玖珂郡小瀬村佐伯与兵衛〉
- 岩国縮（白縮・縞縮）〈玖珂郡岩国町菊元小一郎〉
- 岩国縮（桃色綿縮）〈玖珂郡岩国町株式会社義濟堂〉
- 岩国縮（綿緋縞）〈玖珂郡岩国町塩屋喜三郎〉
- 小倉織（綿服地）〈玖珂郡岩国町株式会社義濟堂〉
- 小倉織（縮小倉服地）〈玖珂郡由宇村三星織物合資会社〉
- 小倉織（縮小倉）〈熊毛郡大野村周防織物株式会社〉

- 木綿縞 〈大島郡久賀町大島織物株式会社〉 〈大島郡蒲野村藤井八郎〉 〈大島郡蒲野村原八松〉
 〈大島郡久賀町鶴田八郎〉 〈熊毛郡田布施町堀江合名会社〉 〈玖珂郡柳井町柳井製綿株式会社〉
 〈玖珂郡新庄村新庄織布合資会社〉 〈熊毛郡田布施町神田時蔵〉
 〈熊毛郡大野村周防織物株式会社〉 〈玖珂郡由宇村朝倉伊之〉
- 蚊帳（「晒麒麟」「晒天稀」「無類」） 〈玖珂郡藤河村本場関戸蚊帳株式会社〉
- 柏木験温器 〈佐波郡防府町柏木幸助〉
- テークク体温器 〈下関市岬之町下関商事株式会社〉
- 甘露醤油 〈玖珂郡柳井町 高田伝兵衛・佐川延治・稲田市太郎・重枝芳〉
- 大理石製品（観音・兎・犬・一輪瓶・風鎮） 〈美祢郡秋吉村鹿取彦七〉
- 赤間関硯 〈下関市東南部町大森久三郎〉
- 船木櫛〔黄楊（三ツ櫛・鬢櫛・筋立）〕〔竹櫛〕 〈厚狭郡船木町筑尾益二郎〉
- 船木櫛〔黄楊（三ツ櫛・深齒・鬢搔）〕〔柞櫛〕 〈厚狭郡船木町倉田惣二郎〉
- 大内塗漆器（花瓶・菓子器） 〈吉敷郡山口町河合辰之進〉
- 大内塗漆器（文台〔短冊箱・硯箱付〕） 〈吉敷郡山口町田原朔郎〉
- 大内塗漆器（置物台） 〈吉敷郡山口町田中直槌〉
- 深川焼（水指・抹茶茶碗） 〈大津郡深川村坂田要四郎〉
- 深川焼（煎茶器・抹茶茶碗） 〈大津郡深川村田原守雄〉
- 深川焼（抹茶茶碗・花瓶） 〈大津郡深川村秋里長吉〉
- 萩焼（三萬手大平鉢・福祿寿置物） 〈阿武郡椿東村坂高麗左衛門〉
- 萩焼（花瓶・獅子香炉） 〈阿武郡椿東村三輪録郎〉
- 青銅花瓶・青銅布袋 〈玖珂郡岩国町正兼長雲〉
- 長陽焼（花瓶） 〈都濃郡戸田村山田稔之丞〉
- 夏蜜柑ジャム 〈阿武郡萩町光國貞太郎〉

水産品

- 蒲鉾 〈阿武郡萩町吉屋松太郎〉 〈阿武郡萩町中尾孫一〉 〈佐波郡防府町吉村留吉〉
- 味醂焼蒲鉾 〈下関市赤間町渡辺仲蔵〉
- 磨鰯 〈豊浦郡宇賀村山本増三郎〉 〈阿武郡奈古村小野音五郎〉 〈大津郡日置村岡本儀三郎〉
- 雲丹 〈下関市赤間町百合本安太郎〉 〈阿武郡山田村玉江浦漁業組合〉 〈豊浦郡神玉村西尾喜三蔵〉
- 乾蝦 〈厚狭郡小野田町田辺又三郎〉 〈吉敷郡秋穂村小川太作〉 〈佐波郡中関村藤本利三郎〉
- 錦いか 〈下関市西細江町後藤庄五郎〉
- 塩（食塩〔三等・四等・五等〕、細粒精品塩、精製食卓塩、粉碎洗滌塩、再製塩）

〈佐波郡中関村三田尻地方専売局〉

県庁からの照会に応じて、郡市単位で「献上品」「台覧品」の候補が報告されます。

それぞれの産物について、回答には〈品名・献納者・生産者・生産地・産額・沿革・販路〉の詳細記録が添付されており、当時の県内各地の名産品や特産品の概要を知ることができます。多くの産物の販路に「鮮満方面」と記されていることが目を引きます。これらの産物は当時の各地の「イチ押し」の産物であり、昨今の「地域ブランドの創成」と軌を一にするもののように思えます。

なお、台覧品箇条書き中の、「●」「下線」のものが、お買い上げ品として後日東京に送付されました。

■4. 御料品目録

▼野菜類

大根、蕪菁（かぶ）、菠薐草（ほうれんそう）、アスパラガス（松葉ウド）、ショウガ、里芋、
京菜（みずな）、甘藷、パーセリー（西洋三つ葉）、白菜、莢豌豆（さやえんどう）、蓮根、ワサビ、
牛蒡（ゴボウ）、長芋、花椰菜（カリフラワー）、甘藍（キャベツ）、葱、人参、セリ、三つ葉、クワ苳、
浜ポーフー、松露

▼果実類

葡萄、リンゴ、ポンカン、梨、バナナ、蜜柑、ネーブル、栗、柿（乾柿）

▼乳肉卵類

牛乳、牛肉、鶏、鴨、小鳥、鶏卵、豚肉、バター、コンデンスミルク

▼水産類

鯛、小鯛、甘鯛、鮠（ボラ）、車蝦、伊勢蝦（タツエビ）、鮑、蜆（アサリ）、蛤、海栗（ウニ）、生和布、
食塩、鯉、鮒、鰻、蜆（シジミ）

以上が、宮内省から事前準備の指示があった食材です。

酒・醤油・米はもちこまれたようです。

料理の具体的なメニューについては、記録が残されていません。

牛乳に関しては、事前に候補牛が3頭選定され、ツベルクリン注射が義務づけられていました。

さらに、産出した牛乳について、事前に成分分析結果が宮内省に報告されました。